日米英瑞4ヶ国共同チームを結成 パイクスピークヒルクライム(PPIHC)に参戦

パイクスピーク100周年レース 電動バイクで参戦します!

多国籍チームで標高4,301mの頂上まで一気に駆け抜ける!

TEAM MIRAI

EV(electricvehicle) 開発の株式会社 MIRAI(本社: 愛知県一宮市、代表取締役社長: 岸本吉広) は6月20日から6月26日にかけてアメリカのコロラド州で行われるパイクスピークインターナショナルヒルクライムレース(以下 PPIHC) 100周年記念大会に電動バイククラスに参戦するチームを結成、出場致します。日本のTEAM MIRAI・アメリカのマサチューセッツ工科大学(MIT) チーム・イギリスのブルーネル大学教授の EVチーム KOMATTI(マン島) にスウェーデン王立工科大学のEVチームの大学チームを主体とした合同チームを結成し、伝統あるレースの新しい歴史に電動バイクで挑戦致します。
TEAM MIRAIは環境に負荷をかけないモーターとバッテリーで動くレースマシンの開発を進め、様々なものづくり企業と協力をして1つの目標に向かって電動バイクを製作しています。次世代の乗り物で社会に貢献することを夢見てマン島 TTも含めると今年5度目のEVレースチャレンジになりますが、昨年度は「韋駄天 ZERO」を製作、電動バイククラスで優勝し、新設された PPIHC電動バイククラスのレコードタイムを記録しました。今年度はレギュレーション改定から昨年のマシンとはまったく別のマシンを製作するということと、縁あって海外の大学チームと共同でマシンを製作、国際共同プロジェクトとして出場することになりました。6月末のレースに向けて各分野の得意分野を生かして大学の学生や先生たちと打ち合わせを重ね日米で1台づつ環境負荷の少ない電動マシンを急ピッチで製作しています。
ライダーは昨年と同じくTEAM MIRAI代表の岸本ヨシヒロがマシンをライディングします。

ただ、電動マシンは発展途上で各チームとも持ち出しが大きくマシン製作費はもちろん輸送代もままなりません。
このチャレンジでTEAM MIRAIを支援・応援してくださる年間フェロー(仲間) も緊急募集しています。
ぜひこの機会に愛知県一宮市から国際間コラボレーションでEVレースにチャレンジするチームをご支援ください。
よろしくお願い致します。

レース日程:2016年6月26日決勝
(6/20 受付・車検　6/21～23 練習　6/24 予選　6/26 決勝)

場所: アメリカコロラド州Pikes Peak (標高4,301m)
大会HP: http://www.ppihc.com/
TEAM MIRAI HP: http://ev-mirai.com/

会社概要

社名: 株式会社MIRAI
代表取締役社長: 岸本 吉広
本社所在地: 愛知県一宮市松降2-5-14 グレース松降207
会社URL: http://ev-mirai.com

Massachusetts Institute of Technology　KOMATTI　Brunel University London　KTH ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ニュースリリースのお問い合わせ
広報:岸本　吉広
〒491-0042 愛知県一宮市松降2丁目5-14 グレース松降207
TEL: 0586-48-5770　FAX: 0586-48-5771
E-mail: contact@ev-mirai.com
株式会社 MIRAI
http://ev-mirai.com

Pikes Peak International Hillclimb (PPIHC)
パイクスピークインターナショナルヒルクライムレースとは

1916年(大正5年) から開催されている別名「雲へ向かうレース(The Race to the Clouds)」と呼ばれ、四輪から二輪、サイドカーまで様々なマシンが走る。今年は100周年記念大会。標高4,301mの頂上にあるゴールに向けて、スタートから頂上までの標高差1,500m、約20kmを一気に駆け上がる身体にもマシンにも過酷なレースとして知られている。2014年から二酸化炭素を排出せずタイムを競うゼロエミッションカテゴリーとして電動バイククラスが新設置され、世界最高峰で行われるEVレースです。

TEAM MIRAI
株式会社MIRAIを母体とした電動バイクチーム

さまざまな中小企業が協力して集まりそれぞれの得意分野を生かしてマシンの製作をしています。
2012年～2013年マン島 TT電動バイク部門である TT Zeroクラスに参戦
2014年～PPIHCに参戦
電動バイクは騒音がないことから逆に音を流すことが出来るとして初音ミクのレーシングバージョンであるレーシングミクとコラボレーション。ライダースタイルのレーシングミクが話題を呼んだ。
参考動画: https://www.youtube.com/watch?v=tvxymyBSUo4

写真は、TEAM MIRAIが2015PPIHC電動バイク部門優勝の瞬間

Massachusetts Institute of Technology　KOMATTI　Brunel University London　KTH ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ニュースリリースのお問い合わせ
広報：岸本　吉広
〒491-0042 愛知県一宮市松降 2 丁目 5-14 グレース松降 207
TEL: 0586-48-5770　FAX: 0586-48-5771
E-mail: contact@ev-mirai.com
株式会社 MIRAI
http://ev-mirai.com

コアメンバー

岸本ヨシヒロ(日本)
ライダー & 開発担当

1972年生まれ。愛知県一宮市在住。
大阪府岸和田市出身
国際ライダー・MFJ公認インストラクター。
CM制作会社からレースの世界に。
電動バイクと出会い日本初の電動バイクチーム Team Prozzaのチームマネージャー兼開発ライダーを務める。Team Prozzaの解散後、独立し起業、TEAM MIRAIを立ち上げる。

[おもな戦績]
2007年 東日本エリア ST600クラスチャンピオン
2008年 SUGO ST600チャンピオン
2008/2011/2015年
もてぎオープン7時間耐久レース優勝
2014年 ニュージーランド cemetery circuit
F3クラス 公道レース(2位)
2015年 筑波選手権 TC400チャンピオン
PPIHC電動バイククラス優勝

Koen MATTHYS(イギリス)
Motorsport engineering programme director at Brunel University London

電気工学博士　ブルーネル大学教授
サーキット経験ある熱心なバイクのライダー。イギリス インペリアル大学の航空学科のコンサルタントを経て、2007年より英国ロンドンのブルーネル大学の教授。学術とデザイン、モータースポーツと航空宇宙を専門領域にする。日本では2008年に大阪大学で研究者の国際交流であるJSPSフェローシップの経験もあり。学生をまとめ毎年授業としてマン島 TTの電動バイククラスに参戦している。2011年に、マン島に研究、設計、レースコンサルタントブランドKOMATTIを起業

Lennon Rodgers　工学博士
Research scientist at the Massachusetts Institute of Technology (MIT)

MIT Researchマサチューセッツ工科大学(MIT) 主任研究員
MIT卒業後、2011年に大学院生としてMIT Electric Vehicle Teamを率いてマン島 TT TTzeroクラスに参戦し完走。
卒業後、客員研究員(Visiting Researcher)として様々な国を訪れ、2015年からMITで主任研員として働いています。

Björn Möller　工学博士
Research scientist at the Royal Institute of Technology (KTH) in Stockholm, Sweden

スウェー デン王立工科大学 主任研究員
2輪のレースが好きでマン島 TTに何度も観戦に行くほど。
電気バスの研究などをしている。

チーム構成

TEAM MIRAI	マサチューセッツ工科大学 (MIT)	KOMATTI	ブルーネル大学	スウェーデン王立工科大学 (KTH)
日本	アメリカ	マン島・英国	英国	スウェーデン

合同チーム名：KOMMIT EVT (KOMATTI MIRAI MIT KTH INTERNATIONAL ELECTRIC VEHICLE TEAM)
チーム名は各チームの頭文字を取り COMMIT をもじったもので「掲げられた目標を確実に達成させることを約束する」という強い決意と意味 合いが含まれています。
特色：空力と軽量化を追求して Co2 を排出せず効率の良い電動バイクを製作すること。
マシンは２台製作され１台は MIT でもう１台は日本で製作される。
ベース車両は ZERO 社の FXS をベースとする。
それぞれの国の特色とアイデアで性能・信頼性・リスクなどを見極め、それぞれが担当したベストの部品を製作し１台のマシンに集約していく国際間プロジェクトである。

Massachusetts Institute of Technology　KOMATTI　Brunel University London　KTH ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ニュースリリースのお問い合わせ
広報：岸本　吉広

〒491-0042 愛知県一宮市松降 2 丁目 5-14 グレース松降 207
TEL: 0586-48-5770　FAX: 0586-48-5771
E-mail: contact@ev-mirai.com

株式会社 MIRAI
http://ev-mirai.com

4/10に行われたアメリカのPalmer Motorsports Park (MIT) でのテスト

各国からチームメンバーが集まった。
MITに留学している日本人も2人協力してくれました。

昨年のPPIHCの電動バイククラスで優勝
TEAM MIRIA代表兼ライダーの岸本

MITは2011にマン島TTのTT Zeroクラスに参戦し完走しています。
その時のプロジェクトリーダーがMITのLENNONでした。

2009年から続けられているマン島TT TTZeroクラス参戦
コーエン教授の元、Brunel 大学モータースポーツ学科の授業の一環として毎年行われる電動バイクプロジェクトです。写真は2015年。

TEAM MIRAIでは2012年より一環して電動バイク製作をしており、2013年から騒音がない電動バイクならではの「音」のコラボレーションとして初音ミクの派生キャラクターで「レーシングミク」とコラボレーションしました。

Massachusetts Institute of Technology　KOMATTI　Brunel University London　KTH ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY

ニュースリリースのお問い合わせ
広報：岸本　吉広

〒491-0042 愛知県一宮市松降 2 丁目 5-14 グレース松降 207
TEL: 0586-48-5770　FAX: 0586-48-5771
E-mail: contact@ev-mirai.com

株式会社 MIRAI
http://ev-mirai.com

2016 TEAM MIRAI FELLOW

Let's create the future

フェロー（仲間）募集

TEAM MIRAIでは年間のマシン開発につながるフェロー（仲間）を募集しております。
マシン開発を通して将来的に自然からの循環エネルギーだけで電動の乗り物が乗れるような生活に貢献したいと考えています。この機に我々のチャレンジにぜひご支援・ご寄付よろしくお願い致します。

ご支援連絡先
株式会社MIRAI
〒491-0042 愛知県一宮市松降２丁目5-14 グレース松降207
TEL. 0586-48-5770　FAX 0586-48-5771
岸本 ヨシヒロ
お問い合わせメールアドレス：sponsor@ev-mirai.com

お振込先

ゆうちょ同銀行からの場合	他銀行からゆうちょ銀行へ振り込みの場合
【金融機関名】ゆうちょ銀行	【金融機関名】ゆうちょ銀行
【支　店　名】12150（記号）	【支　店　名】二一八
【口座　種別】普通	【店　　番】218
【口座　番号】95512361	【口座　番号】95512361
【口座　名義】株式会社 MIRAI（カブシキガイシャ　ミライ）	【口座　名義】株式会社 MIRAI（カブシキガイシャ　ミライ）

チームグッズが特典でございます。
各コースはチームホームページをご確認下さい。
http://ev-mirai.com/2016fellow

MIRAIのチャレンジついて

2016年パイクスピークインターナショナルヒルクライムレース（PPIHC）電動バイククラス（100周年記念大会）
※その他、国内での招致レースや展示会、マン島 TT TTZERO（電動）クラス出場を目指してレギュレーションをクリアするために、国内の筑波選手権、海外の公道レースである cmetery circuitなど参戦しながらマン島用当該クラスのレシプロマシンの開発も進めて参戦しています。

Massachusetts Institute of Technology　KOMATTI　Brunel University London　KTH ROYAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY